

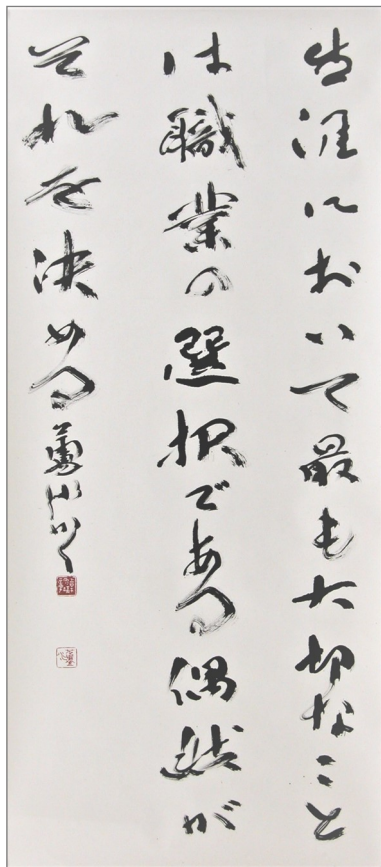
## ちょっと知ろう!「読める書」とは!?

明治時代まで書とは、漢詩文と和歌・俳句、仏教の経典など、主に文化表現を役割として、漢字を書か、仮名を書か、どちらか一方での二択でした。しかし、大正時代から昭和にかけて書壇が発展すると、先陣を切った書の巨匠たちは時代にあった表現方法を開拓し始め、「漢字」と「かな」を同じ画面で同等に扱い、芸術として表現することを提案するようになります。

まず、尾上柴舟は、古筆(佐藤原行成《和漢朗詠集粘葉本》)の書風を土台にして漢字と仮名を同じ作品の中で生かす「調和体」の表現を始めました。これにより、江戸末期にはサブ文字的存在になっていた仮名を「かな書」とし、その認識をググッと押し上げました。つづいて、金子鷗亭は、中国の漢字作品の多様な書風をかなにも応用する書を「近代詩文書」と名付け制作に取り組み、村上三島は、「読める書」「親しみやすい書」という言葉で、一般社会の人々に理解され、鑑賞されるような書の制作を提唱しました。これらの動きが始まったことで、作品の題材として、和訳された西洋哲学者の格言なども加わり、鑑賞の幅も広がるようになりました。そして、平成元年(1989)年度版の「高等学校学習指導要領」には「漢字仮名交じりの書」という新たな書の分野として紹介され、広く学ばれるようになりました。

書の敷居なんてないのですが、読めない書を見てどこか一線を引いていた方も、この度の展覧会なら…きっと読める! 声を出して読んでokです! 書を読みに来てくださいね!

日 曜	常設展示室・展示室
1 月	展示替えのため休館 4月2日(火)~4月4日(木)
2 火	
3 水	
4 木	
5 金	<p>春の所蔵品展</p> <h2>「これなら読める 一漢字かな交じりの書」</h2> <p>会期：2024年4月5日(金)~6月8日(土) ※前期後期作品入れ替えあり</p> <p>前期：4月5日(金)~5月6日(月)</p> <p>後期：5月10日(金)~6月8日(土)</p> <p>休館日：月曜休館</p> <p>※ただし4月29日(月)、5月6日(月)は開館。 5月7日(火)は休館。5月8日(水)、9日(木)は 展示替えのため休館。</p> <p>会 場：常設展示室・展示室</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>展覧会内容</p> <p>現代の「漢字かな交じりの書」は、草書や変体がなを使わず、日常的で身近なものを素材とした表現で、書の一分野として親しまれるようになってきました。漢字、かなの書家たちも、それぞれの分野での基礎の上に立って、言葉の持つイメージを大切に、漢字とかなの調和を図った作品を発表しています。本展覧会では、常設展示室に栗原蘆水作品を、展示室は宮本竹逕、桑田三舟、中室水穂の作品を展覧ご紹介いたします。作品を読み、内容を味わい、書かれた思いとの対話をお楽しみください。</p> </div>
6 土	
7 日	
8 月	
9 火	
10 水	
11 木	
12 金	
13 土	
14 日	
15 月	
16 火	
17 水	
18 木	
19 金	
20 土	
21 日	
22 月	
23 火	
24 水	
25 木	
26 金	
27 土	
28 日	
29 月	
30 火	



栗原蘆水《パスカルの言葉》前期展示

### 所蔵品展観覧料

一般	150円 (120円)
高校生以下無料	

※( )内は有料20名以上の団体料金

次の方は観覧料が無料です

- 社会福祉施設に入所されている方
- 福山市・府中市・神石高原町に住所を有する65歳以上の方  
(運転免許証や健康手帳など、住所・年齢が確認できるものが必要)
- 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持参する方、及びその介護者1名

※開館時間は午前9時30分から午後5時までです。  
※月曜日【 】の日は休館日です。

FUKUYAMA MUSEUM OF CALLIGRAPHY  
**美 ふくやま書道美術館**

〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号  
JR福山駅福山城口(北口)から西へ約400m TEL084-925-9222  
Webページ [www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/](http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/)  
電子メール [syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp)